

「JICA ボランティア募集関連業務（JICA 筑波・JICA 東京・JICA 横浜）民間競争入札実施要項（案）」に対する意見書への回答について
（意見公募期間：2014年6月30日～2014年7月11日）

1. 意見提出件数：6者13件
2. 意見の概要及び回答

番号	意見対象箇所	意見の概要	回答、対応案
1	実施要項（案） P14～16 P18 P18～29	<p>委託業務の目的、委託業務の内容、委託業務の実施地域等については特に意見はありませんが、実施要領（案）資料の形式（No.について）が分かりにくい印象です。</p> <p>*P14～16までの（4）～（7）はP3に（4）があるので、（5）～（8）ではないでしょうか。</p> <p>*P18の業務の引継ぎの（1）は、その中に1～11までのNoがあるので不適當でないでしょうか。</p> <p>*P18～29の中のNo1～11も順番で繋がってないと思います。</p>	<p>P14～16までの（4）～（7）については、番号の記載間違いですので、（5）～（8）に修正いたします。</p> <p>また、P18～29についても、番号の記載間違いがあったため、修正いたします。</p>
2	業務内容全体について	<p>JICA ボランティア募集関連業務の民間競争入札実施要項（案）につきましては、とても丁寧で、応募するに当たっては何をすべきかが良くわかる説明書と思います。</p> <p>個人の意見としても、変える必要があるか否かは大変苦慮するところですが、「募集説明会」と「ボランティアセミナー」を分けて公示頂くことは、如何でしょうか。</p> <p>大きな流れの中では、「ボランティアセミナー」は、「募集説明会」、JICA 海外ボランティア参加者へと繋がる線で結ばれているので、現状でも良いと思う反面、「ボランティアセミナー」は、広義の若い方々の育成事業でもあると思われます。JICA 海外ボランティアOVの皆さんのご支援を得て進めるJICA 海外ボランティア参加に興味のある方への「募集説明会」、そして、OVだけでなく、ボランティア経験者、有識者にも支援いただくボランティアの裾野を広げる「ボランティアセミナー」と切り離れた案件と考えても良いのでは、とも思います。</p>	<p>ご指摘のとおり、「ボランティアセミナー」「募集説明会」それぞれの第一義的な目的は異なりますが、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 最終的にはJICA ボランティアへの参加者を増やすという同じ目的のもと業務を実施すること。 ② そのため、同じ業務従事者が春・秋の募集期には「募集説明会」、それ以外の期間には「ボランティアセミナー」に従事し、年間を通して効率的に業務を遂行することを想定していること。 ③ 「ボランティアセミナー」に参加した人が「募集説明会」へ参加し、さらに応募につながるという一連の流れも重要視していることから、複数年度実施する本業務では、まったく切り離して考えるのではなく、関連させながら業務を実施することでの効果にも期待していること。 <p>等の理由から一つの委託業務としているため、業務内容の変更はいたしかねます。</p>

3		<p>入札価格に関する最低予定価格を設定すべきではないでしょうか。</p>	<p>本件は、総合評価落札方式を採用しており、民間事業者の創意工夫によって、より確実に、より効率的に業務を遂行できる方法や体制を提案していただき、審査を行うため、質の検討及び価格の両面から検討は可能と考えられることから、最低予定価格の設定を行う予定はありません。</p>
4	<p>実施要項（案）P5 募集説明会に係る各業務の内容：体験談発表</p>	<p>（意見）ボランティア経験者の派遣国、性別、…・有無のバランスを考えて人材を確保しているが、むしろ協力隊で培った能力や経験等、帰国後どんな分野で活躍しているかがわかるような体験談発表が良い。帰国後の進路を国際協力分野、教育分野、自治体等の公共サービス分野、海外進出企業分野等に別けて、人材を選び体験談を発表、それを聞くことで参加者が協力隊に参加することのメリットを感じることができれば、募集説明会の目的の一部を果たすことができると考える。派遣国等については、訓練所で学ぶ機会があり、不安を払しょくするのであれば応募期間中にメールや個人面談が可能（市ヶ谷ビル等に期間限定で設置）になるようにするシステムを作る。</p> <p>（理由）体験談発表者を選ぶ要件が多すぎるため、事業に精通している特定事業者でなければ受注できないという印象を受ける。また説明会の目的は事業への理解促進と応募者の拡大ということであれば、帰国後の進路を打ち出すことも必要と考える。</p>	<p>体験談発表のテーマ・内容等については、企画書の中で効果的な方法をご提案いただくことを想定していますので、その点を明示すべく、実施要項（案）P.15「（５）入札対象事業の実施に当たり確保されるべきサービスの質　口、募集説明会の参集者、ボランティアセミナー実施機関の関心に応える企画内容の立案」の該当箇所に「座談会、体験談発表を含む」と記載します。</p> <p>JICA からの指示内容は、体験談発表者を選ぶ要件ではなく、体験談発表者の属性に偏りが出ないようにバランス配慮です。実施要項（案）P3「（４）業務委託の詳細」に記載しているように、体験談を発表するボランティア経験者の選定については、JICA から年 2 回提供する帰国ボランティアのリストを使用することとしておりますので、特定事業者でなければ受注できないとは考えておりません。</p>
5	<p>実施要項（案）P8 説明会内容の検討にあたっての留意事項</p>	<p>（意見）進路相談カウンセラー、技術顧問、国際協力推進員だけでなく、選考及び訓練に精通した人員の提供も加えては如何か。</p> <p>（理由）説明会では「選考及び訓練」に関する質問も十分に予想されると考えるが、それに対する記述やフォロー体制が実施要項に記載されていないため、事業に精通している特定事業者でなければ受注できないという印象を受ける。</p>	<p>P9「説明会個別応募相談の対応について」に記載のとおり、個別応募相談における質問等への回答については、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① JICA から必要資料（ボランティアハンドブック、FAQ 集など）の提供を行うこと ② 「募集説明会には、JICA から実勢と同程度の人員を出す用意がある」と記載しており、受注者が回答困難質問については、JICA 職員による対応が可能であること（上記資料の活用及び募集説明会に参加している JICA 職員によっても回答が困難な場合には、JICA 国内

			<p>拠点もしくは JICA 本部が後日回答を行う予定)から、「選考及び訓練に精通した人員の提供」との記載は不要と考えます。</p>
6	実施要項(案) P12 JICA ボランティアセミナーに関する業務	<p>(意見) JICA ボランティアセミナーに関する業務については、本件より分離して公示しては如何か。</p> <p>(理由) セミナーは、実体験を有する者ではないと難しく、こうした人材の確保、育成が応募を妨げているのではないかと考える。</p>	<p>上記、番号 2 の質問への回答及び、以下回答をご参照ください。</p> <p>JICA ボランティアセミナーの内容の基本形としては、「事業概要説明」、「体験談」、「質疑応答」であり、受注者は実施団体との調整や体験談を発表するボランティア経験者の選定及びアレンジ、当日の運営(事業概要説明及び質疑応答対応)です。体験談発表者については JICA から提供するボランティアリストをもとに選定を行い(実施要項(案) P14「6」ボランティアセミナー実施における留意事項)、事業概要説明については JICA から提供するパワーポイントの資料を基に説明を行うこと(実施要項(案) P13「5」(5)ボランティアセミナーの内容の検討)としているため、ボランティアセミナーを運営する受注者は、実体験を有するものでなくても業務の実施が可能であると認識しています。</p>
7	実施要項(案) P12 JICA ボランティアセミナーに関する業務	<p>・セミナーの実施方針、開拓対象とする充足率の低い職種、分野について情報公開は可能であるか。</p> <p>⇒貴機構の実施方針に則り、開拓先について具体的な提案をするため。</p>	<p>現時点でのボランティアセミナーの実施方針は、P12 記載のとおりです。充足率の低い職種については、過去 3 募集期(24 秋、25 春、25 秋)の各職種の充足率については、実施要項に添付することとします。</p>
8	実施要項(案) P16 報奨金	<p>・ボランティア応募の定義(セミナー不参加者、数年前募集説明会の参加者、応募カウント基準等)</p> <p>・派遣期間(短期ボランティアもカウントされるのか)</p>	<p>報奨金の基準としている応募者数は毎年 2 回の募集期(春・秋)の長期ボランティアへの応募者の合計です。JICA ボランティアセミナー、及び募集説明会への参加・不参加にかかわらず、春募集・秋募集での応募者数の数としています。また、短期ボランティアはカウントされません。実施要項(案) P.16「(6)契約の形態及び支払い ハ. 報奨金について」にその旨記載します。</p>
9	実施要項(案) P22 評点表	<p>・ボランティアセミナー実施機関の関心に応える企画内容の立案各業務の参加対象者の「関心事項を分析した企画内容の提案情報開示頂くことは可能であるか。</p> <p>⇒求められる企画提案についてより具体的に提案を行いたく現状把握のため、実施機関からの要請内容、及び参加対象者か</p>	<p>現行委託業者から提出された実施報告書を参考資料として実施要項に添付します。</p>

		らのアンケート等、情報開示頂くことは可能であるか。	
10	実施要項（案）P35 謝金 4,700 円/回	拘束時間の実績について情報開示は可能か。	拘束時間は JICA ボランティアセミナー、募集説明会の企画内容により若干前後しますが、JICA ボランティアセミナーの場合 2 時間～3 時間、募集説明会の場合 3 時間～4 時間程度です。実施要項（案）P35.「1 入札金額についての留意事項」にその旨記載します。
11	実施要項（案）P.20 6.民間競争入札に参加する者の募集（3） 企画書の内容 へ.業務実施体制及び 業務従事者	業務従事者の体制（人数・役割分担）や作業場所については、提案事業者の提案内容によるものと理解しておりますが、従うべきものがあれば記載いただけますでしょうか（例えば、作業場所についても提案事業者にて用意する場合は、その旨明記願います）。 （理由：体制の検討、見積に影響するため）	業務従事者の体制（人数・役割分担）については、提案事業者の提案内容によるものですので、特に記載しません。作業場所については、実施要項（案）P14「（4）民間競争入札の対象となる委託業務の実施場所」に記載のとおり、受注者に実施場所を確保いただきます。
12	実施要項（案） 別紙 2 「1. 入札金額 についての留意事項」 別紙 3 「2. 従来の実 施に要した経費」	直接経費の内、OB/OG 謝金や職員旅費等、受注者のみにて決定しにくい項目については、会場経費と同様、入札金額から除いて実費精算とすることをご提案いたします。もしくは、入札時の想定から変更があり、それが受注者に起因しない場合は、その差額について調整可能等の条件を明示いただけないでしょうか。（理由：別紙 3 を拝見すると、年度ごとに一定ではなく差が見られ、見積をより確実にするため）	精算事務を簡素化する観点から現時点では修正せずに対応したいと考えております。 OB/OG 謝金は一人当たりの単価を定めており、説明会の回数・規模に応じて必要経費が変動します。また、都県別実施回数の目安をお示ししていること、移動範囲が首都圏に限定され、会場へは公共交通機関でのアクセスが可能であることを踏まえると、職員旅費（＝受注者従事者の交通費等）については概ね推定が可能で、説明会の規模・回数により金額が変動するものと理解しております。 よって、説明会の実施回数・規模に応じて実際の精算・支払いを行うことにより、OB/OG 謝金や職員旅費等は適切に管理が可能であると考えられますので、原案どおりの積算方法とさせていただきたく、実施要項案を踏まえ、適切な金額の見積と積算をご検討いただければと思います。 なお、別紙 3 の各項目の金額の変動は、説明会実施回数や規模の変更等により生じたものです。また、入札時からの大幅な条件変更が生じた際には両者協議のうえ必要な変更を行うことも可能であり、その旨実施要項（案）に明記します。
13	実施要項（案）P.2	現行業務において、次期業務に向けた改善事項や課題、及び、	JICA が認識する課題については、実施要項（案）P.14「（5）入札対象

2.募集関連業務の詳細な内容及びその実施にあたり確保されるべき募集関連業務の質に関する事項	継承すべき事項があれば記載いただけないでしょうか（より良い提案を行うため）。	事業の実施に当たり確保されるべきサービスの質」に記載のとおりですが、加えて、現行委託業者から提出された実施報告書を参考資料として実施要項に添付します。
---	--	---